

\*\* 2017年4月改訂（新様式第7版）  
\* 2014年3月改訂（新様式第6版）

日本標準商品分類番号	
87279	
872612	
承認番号	15200AMZ00538000
薬価基準	平成11年2月
販売開始	平成6年3月
再評価結果公表	昭和58年4月
効能効果追加	昭和58年5月

## 歯牙根管防腐剤 日本薬局方 ヨードホルム

### 劇薬

貯法： 遮光、気密容器、室温保存  
使用期限 3年

### 【禁忌】（次の患者には投与しないこと）

- ヨード過敏症の患者
- \* 腎障害のある患者〔本剤の主たる排泄臓器は腎臓であり、腎機能低下患者では血中総ヨウ素濃度が著しく上昇することがある。〕
- \* 3. 心障害のある患者〔経皮吸収により、心毒性をあらわすことがある。〕

### 【組成・性状】<sup>1)</sup>

- 組成  
本品を乾燥したものは定量するとき、ヨードホルム (CHI<sub>3</sub>) 99.0%以上を含む。
- 性状  
本品は光沢のある黄色の結晶又は結晶性の粉末で、特異なにおいがある。

### 【効能・効果】

- 歯牙根管の防腐
- 創傷・潰瘍の殺菌・消毒

### 【用法・用量】

- 歯牙の根管充填剤に配合する。特にオイゲノールセメント等に適宜配合して乳歯に充填する。
- 少量の原末を1日1回散布する。また、消毒性包帯材料として10%のヨードホルムガーゼを用いる。<sup>1)</sup>

### 【使用上の注意】

- \* 1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）  
甲状腺機能に異常のある患者〔甲状腺機能に異常がある場合はヨードホルムの使用により血中ヨウ素の調節ができず、甲状腺ホルモン関連物質に影響を与えるおそれがある。〕

### 2. 相互作用

併用禁忌（併用しないこと）

	硝酸銀、水銀塩、過酸化水素、酸化剤
理由	分解するため

### \* 3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

#### (1) 重大な副作用

ヨード中毒（頻度不明）：

以下のような症状のヨード中毒を起こすことがあるので、血中総ヨウ素濃度の測定を行うなど、十分な観察を行い、異常が認められた場合には使用を中止し、十分洗浄して適切な処置を行うこと。

- 1) 精神神経系：興奮、せん妄、不穏、見当識障害、記憶障害、抑うつ、昏睡、失神、傾眠、不眠（睡眠障害）等
- 2) 消化器：食欲不振等
- 3) その他：頭痛、全身倦怠感、頻脈等

#### (2) その他の副作用

種類	頻度	0.1%未満
過敏症 <sup>注)</sup>		そう痒感、ヨード疹、じんま疹様発疹、口腔粘膜びらん、紅斑、丘疹、水疱等
皮膚		そう痒感、灼熱感等

注) このような場合には使用を中止すること。

### \* 4. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

授乳婦に使用する場合は授乳を避けさせること。  
〔ヒト母乳中へ移行し、新生児に一過性の甲状腺機能低下を起こしたとの報告がある。〕

### 5. 臨床検査結果に及ぼす影響

血漿たん白結合ヨード (PBI) 及び甲状腺放射性ヨード摂取率の検査値に影響を及ぼすことがある。

\* 6. 適用上の注意

(1) 投与経路

外用にのみ使用すること。

(2) 使用時

- 1) 原末又は溶解液が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には大量の水でよく洗い流すこと。
- 2) 長期間又は広範囲に使用しないこと。
- 3) 石けん類は、本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。

\* 7. その他の注意

- (1) 本剤を1回4 g、局所に散布した例で、ヨード中毒及び心筋の変性による心臓衰弱のため死亡したとの報告がある。
- (2) 本剤はヨウ素含有製剤であるので、多量使用及び長期連用時には甲状腺機能の変動に注意すること。

**【薬効・薬理】**

本剤は、防腐、制臭、分泌抑制、粘膜に対しては局所麻酔作用などがあるが、ヨードホルムそのものには殺菌作用はなく、血清や分泌液に溶けて徐々に分解し、ヨウ素を遊離して殺菌作用を現すといわれている。特に還元性物質を生成する破傷風菌、結核菌などに鋭敏である。

**【有効成分に関する理化学的知見】**

一般名：ヨードホルム

化学名：Triiodomethane [75-47-8]

分子式：CHI<sub>3</sub> (393.73)

性状：本品は光沢のある黄色の結晶又は結晶性の粉末で、特異なおいがある。

本品はジエチルエーテルに溶解やすく、エタノール（95）にやや溶けにくく、水にほとんど溶けない。

本品は常温でわずかに揮散する。

**【取り扱い上の注意】**

1. 遮光した気密容器で直射日光を避け室温に保管。
2. 使用期限 3年

**【包装】**

25 g 褐色ガラス瓶入

**\*\*【主要文献】**

- 1) 第17改正日本薬局方解説書、廣川書店、東京、2016

**【文献請求先】**

アグサジャパン株式会社

〒540-0004

大阪市中央区玉造1丁目2-34

06-6768-6344 (代表)

製造販売業者及び製造業者

アグサジャパン株式会社 大阪府大阪市中央区玉造1丁目2-34